



学校だより

雪小っ子

NO. 21

西海市立雪浦小学校

校長 浅田 眞理

平成29年 7月 5日 発行

雪小っ子の心を見つめる教育週間、無事終了！

6月26日（月）、校長講話からスタートした今年の教育週間も、先週金曜日の親子ふれあい給食会・山口栄養教諭による保護者食育指導、全学級一斉道徳授業参観・学級懇談会、第1回学校保健委員会の実施で無事終了しました。とは言え、教育週間の試みは前週からあっており、23日（金）は、PTA会員全員で楽しいひとときを過ごそうと『会員レクリエーション：室内ペタンク大会』、25日（日）は、地域行事：雪浦作上がりペーロン大会での『親子ペーロン体験』、そして、その後も2日（日）の大瀬戸ペーロン大会での『子供ペーロン体験』と、教育週間の1週間だけでなく、その前後も様々な行事が実施され、子供たちにとっても保護者にとっても貴重な経験ができた期間となりました。

ところで、様々な行事が行われたこの1週間。本校では、特に様々な人との関わりを通して心の教育に取り組んだ1週間でしたが、保護者の皆様におかれましては、実際に参観されたりお子様に話を聞かれたりして、いかがお感じになりましたでしょうか。4月に提唱した、皆様の御期待に添える『ココロの教育充実プログラム』になっていましたでしょうか。

情報化やグローバル化が急速に発展する中であって、今日、人間関係の希薄化、社会規範意識の低下、家庭・地域社会の教育力の低下等々様々な社会問題が指摘されています。そのことが、学校においては、学ぶ意欲の低下や自尊感情・規範意識の低下に起因する学級の荒れやいじめ、不登校等の問題に発展していると言われています。

だからこそ、このような機会を捉えてしっかりと子供たちと向き合うことが大切だと考えますが、今年度もまた保護者・地域の皆様のお陰で充実した教育週間を終えることができました。改めて、子供たちの教育に対する思いの深さに感謝の念でいっぱいです。ありがとうございました。

今年度の教育週間中の取組のようす No1

福祉ボランティア体験学習 29日（木）

今年は目にハンディキャップのある方々をサポートしている『音訳ボランティアやまびこ』の皆さんの活動を通して、障害のある生活に対する理解、支援活動への理解等を深めました。

人は障害があるなしに関わらず、一人一人が違っていることは当然であり、互いに認め合い、思いやりの心をもって助け合って生活することが大切です。

この日は、大瀬戸地区外部評価委員の皆様にも御参加いただきましたが、子供たちが真剣に学んでいる姿に感動され、終了後たくさんの心温まるお褒めの言葉をいただきました。



かざぐるまの会による読み聞かせ 28日（水）

今回は、学習支援員である林先生や中川先生に登場していただき、『新聞紙シアター』やパソコンを使った読み語りをしていただきました。特に、初めて見る『新聞紙シアター』は、集中して鑑賞する子供たちの姿がありました。



水泳指導 28日（水）

今年度初めての水泳指導が、28日（水）大瀬戸ふれあいプールにおいて行われました。水温がやや低めではありましたが、第1回目の練習とい

うことで子供たちは大張り切り。マイクロバス予約の手違いで開始時刻は遅れたものの、水慣れ・泳力調査等水温の低さに負けることなく水泳の学習に取り組みました。今後は、3日（月）・11日（火）・13日（木）の3回が計画されています。今後ともしっかり取り組ませていきます。



素直で礼儀正しい子（徳）たくましく学び合う子（知）明るく元気な子（体）